

あなとも わたしも やればできる

# 栗屋まちづくり計画

共に支え合い安全で安心して暮らせる町



雄大な霧の海に浮かぶ「日の出」(高谷山展望台より)

栗屋町づくり協議会  
(平成30年3月)



# はじめに

昭和35年4月に開館した粟屋公民館は、平成16年4月に平成の大合併で新制三次市が発足したことに伴い、新たな住民自治組織「粟屋町づくり協議会」として、これまでの公民館活動を母体に平成19年4月に発足しました。

粟屋町づくり協議会（以下「協議会」という。）の活動は平成19年3月に策定した「粟屋まちづくり実施計画」に基づき、《共に支えあい安全で安心して暮らせる地域》を目指して活動を推進してまいりましたが、計画策定から12年が経過し、社会経済情勢の変動等から今回計画の見直しを行うことになりました。

変更後の計画策定にあたっては、平成29年2月に協議会活動に関する住民アンケートを実施し、「粟屋町づくりビジョン策定委員会」を結成して、新たな「粟屋まちづくり計画」を策定いたしました。

変更計画は、当初の実施計画を基本にし、内容を大幅に変更するものではなく、これまでの活動実績や少子高齢化・人口減少等に伴う見直しにしております。

今後は改定した「粟屋まちづくり計画」に基づいて、町民の皆様のご理解・ご協力のもとに協議会活動を推進してまいります。これまでと同様に変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

平成30年3月

# 栗屋町の概要



栗屋町は総面積 2,870ha で三次市の北西部に位置し、東南北を江の川が流れ、東側は、江の川を挟んで三次市街地と隣接し、西部は安芸高田市に接しています。

中央に標高490mの高谷山を中心に大半が急峻な山塊で、中腹の谷あいや山麓周辺に30余りの集落が点在しています。

南北を国道54号が走り、その周辺は商工業の進出があり、町内の中心となっています。また、中央部を高北広域農道が高宮町に接続し、国道と併せ交通の要衝となっています。

栗屋の歴史は、岩脇古墳に見られるように古代（縄文後期）から人々が居住し生活していました。5世紀から7世紀にかけて大規模な古墳が築造されるようになり丘陵地の各所に大小の古墳が点在しています。

弥生中期となると鉄の生産も行われるようになり、狩猟や採集から谷間周辺で農業生産も行われるようになってきました。高谷山を中心とする周辺地域は鉄分を多く含む石英閃緑岩が風化した土砂で覆われていて、小規模ではありますが、砂鉄の採集が早くから行われていたと推測されます。

中世紀になると砂鉄の生産は益々多くなり、人口も増加し、覇権をめぐる争いも多くなったことにより、川沿いには多くの山城の跡が残っています。また、川に囲まれていることもあり漁労文化が発達していたと考えられます。山城から当時使われていた土錘（網の錘）が出土しています。



勝山城跡



浅原城(龍頭城)跡



岩脇古墳



栗屋町のシンボル高谷山

## 2

### 人口・世帯数の状況（資料：住民基本台帳）

★現在

平成29年3月1日（2017年）

人口・世帯数					65歳以上の人口・高齢化率		
男	女	人口計	世帯数	世帯人員	人口		高齢化率
771	869	1,640	839	1.95	716		43.66%

★10年前

平成19年3月31日（2007年）

人口・世帯数					65歳以上の人口・高齢化率		
男	女	人口計	世帯数	世帯人員	人口		高齢化率
924	1,024	1,948	912	2.14	668		34.29%

★10年前からの増減

人口・世帯数					65歳以上の人口・高齢化率		
人口増減			世帯数増減		人口増減		
男	女	人口計	世帯数	世帯人員	人口		高齢化率
△153	△155	△308	△73	△0.19	48		9.37%

## 3

### 農地・山林面積（資料：農林業センサス）

耕地面積

★平成27年

	耕地面積 (ha)				農家戸数 (兼業含む)	総面積 (ha)
	田	畑	樹園地	計		
粟屋町	76	9	1	86	169	2,870
三次市	2,943	218	61	3,222	4,291	77,820

★平成17年

	耕地面積 (ha)				農家戸数 (兼業含む)	総面積 (ha)
	田	畑	樹園地	計		
粟屋町	100	13	1	114	215	2,870
三次市	4,360	333	140	4,833	5,993	77,820

山林面積（平成27年）

	総面積	林野率
粟屋町	1,961ha	73.9%
三次市	59,032ha	75.9%



# 粟屋まちづくり計画

## 将来目標 粟屋町のあるべき姿は？

- ・安全で安心して暮らすことができ、希望と活力に満ちた幸せ感の持てる町。
- ・この地に生まれ、この地で暮らし、次の世代が安心して住み続けることができる町。
- ・共に支え合い安全で安心して暮らせる町。

## 基本理念 目標を達成するために行うこと・心構えは？

「あなたも わたしも やればできる」を合言葉に、住民自らが地域活動に参加して、これからの地域づくりに知恵を出し、汗を流して取り組みます。

## 計画策定の趣旨 この計画書は何のために策定したのか？

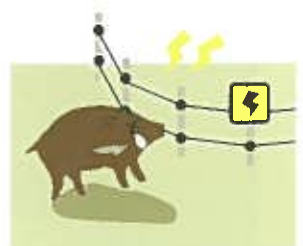
平成18年度に策定した「粟屋まちづくり実施計画（平成18年度～平成27年度）」の計画期間が満了したことに伴い、前計画を基本に、粟屋住民の多くの方からいただいたアンケートやご意見を基に、私たち住民がこれから10年間にやるべき事をまとめました。

## 計画期間

平成30年4月1日から平成39年3月31日（10年間）

## 現状と課題 前計画上の課題や今抱えている地域の問題点など

- ・少子高齢化が進んでいる
- ・集落機能の維持ができない集落が増加傾向にある
- ・町内で小学校区、中学校区が分断している
- ・地域活動が衰退傾向にある
- ・高齢者の交通手段の確保
- ・空き家が増加している
- ・鳥獣被害が広範囲に広がっている
- ・山林が荒廃している
- ・住民自治組織への未加入世帯が増加している
- ・土砂災害危険地域が随所に見られる



## 魅力・誇れるもの

- ・ 自然環境  
豊かな山と川に囲まれた景観  
(高谷山, 江の川, 霧の海, 展望, かたくり, ホタルなど)
- ・ 市街地に近い (利便性が良い)  
(国道, 県道, 広域農道など)
- ・ 地域文化, 名所, 旧跡がある  
(山城, 古墳, 鉄穴流し跡など)
- ・ 充実した教育・福祉施設がある



## 基本施策と施策目標

### 基本施策

- ・ 将来目標を実現するために, 基本理念に沿って行動する。
- ・ 住民相互が助け合いながら地域ぐるみで行動する。
- ・ 関係諸団体や関係機関と連帯, 協働して行動する。

### 施策目標

- ・ 将来目標を実現するために次の施策目標を掲げます。

- ① すみよい環境づくりの推進
- ② 安心して暮らせる福祉活動の推進
- ③ 教育・文化活動の推進
- ④ 青少年育成の推進
- ⑤ 体力づくりと交流の推進
- ⑥ 防災・防犯活動の推進
- ⑦ 重点プロジェクトの推進



# ① すみよい環境づくりの推進

全国的に有名な「霧の海」が眺望できる高谷山が町のシンボルであり、豊かな自然環境が残されています。空気・水・美しい景観を保全するため次の施策を行います。

## ① 自然環境の保全

- ・ 不法投棄の防止(不法投棄物の回収など)
- ・ ごみゼロの活動(空き缶拾い, クリーンアップ作戦など)
- ・ 高谷山一斉清掃



不法投棄物回収作業



高谷山一斉清掃

## ② 生活環境の維持・改善

- ・ 生活道路の整備
- ・ 上水道の普及推進
- ・ 学習会の開催(環境問題等)



## ② 安心して暮らせる福祉活動の推進

生活環境の変化や少子高齢化が急激に進行したことにより、地域ぐるみで安心して暮らせる仕組み作りが必要です。

子どもからお年寄りまで、誰でも安心していきいきと暮らせるために次の施策を行います。

- ① 小地域での相互扶助、助け合い活動の推進
- ② 小地域でのいきいきサロン活動の充実
- ③ 高齢者の活動の場の充実
- ④ 高齢者交通手段の確保・充実
- ⑤ 高齢者の見守り活動



## ③ 教育・文化活動の推進

生涯学習や文化活動を通じて、地域ぐるみでいきいきと活動できることや歴史・文化の保存や活用を通じて、地域に誇りと愛着を感じるために次の施策を行います。

- ① 各種講座の開催
- ② 各種講演会の開催
- ③ 歴史・伝統文化の継承と活用
- ④ 各種文化活動支援
- ⑤ 文化祭の開催



たたら栗屋塾



栗屋町民文化祭



大平田楽



文化祭参加の皆さん



粟屋小学校児童よさこいソーラン



農産物展示



<作品展示>放課後子ども教室児童の作品

## ④ 青少年育成の推進

地域の宝であり未来を担う青少年を地域ぐるみで見守り育成するために次の施策を行います。

- ① 声かけ運動の実施
- ② スポーツ少年団の育成支援
- ③ 放課後子ども教室の運営
- ④ 粟屋子ども会の実施
- ⑤ 青色パトロール(防犯パトロール)の実施



粟屋子ども会



放課後子ども教室





粟屋スポーツ少年団剣道部



粟屋スポーツ少年団野球部

## ⑤ 体力づくりと交流の推進

体力づくりを通じて、コミュニティ活動の推進を図り、心身ともに健康でいきいきと暮らしていくために次の施策を行います。

- ① 健康増進活動の実施
- ② 各種スポーツ大会の開催
- ③ コミュニティ活動の充実



霧の海てくてくウォーキング



健康増進 あわやAKB



グランドゴルフ大会



パークゴルフ大会

## ⑥ 防災・防犯活動の推進

安全で安心して暮らせる地域を目指して、住民がともに支え合い協力して防災・防犯活動を継続的に取り組むために次の施策を行います。

- ① 防災・防犯意識の啓発
- ② 自主防災組織の充実
- ③ 防犯組織の再構築
- ④ 小地域での避難経路・場所の選定
- ⑤ 交通安全の推進
- ⑥ 避難訓練の実施



## ⑦ 重点プロジェクトの推進

将来目標を実現するためには、住民相互の助け合いや地域ぐるみの行動が不可欠です。また、関係諸団体や関係機関と連帯、協働して実施することも必要です。そのために次の活性化事業を重点プロジェクトと位置づけ積極的に推進します。

- ① 高谷山「初日の出を見る集い」の開催
- ② 高谷山環境整備事業
- ③ 町民文化祭の開催
- ④ 「高谷山もみじ祭」の開催
- ⑤ 「栗屋夏まつり」の開催
- ⑥ 栗屋小学校グラウンドの芝生管理
- ⑦ 「栗屋の歴史&地域探訪」の発行
- ⑧ 老朽化したコミュニティセンター施設整備
- ⑨ 「町づくりを語る会」の開催
- ⑩ 地場産業・福祉施設との連携
- ⑪ 馬頭広場(大平地区)からの「夕日」の魅力を発信



馬頭広場からの夕日

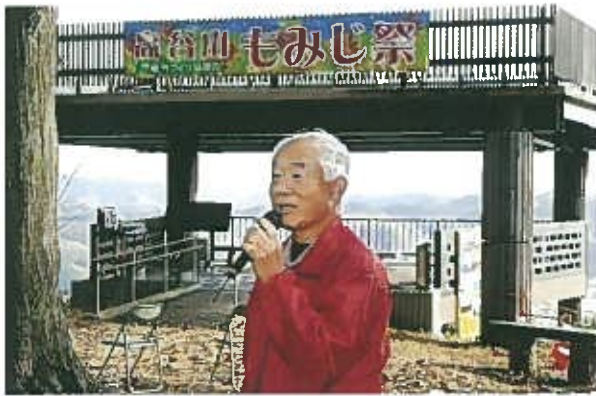




カラオケ喫茶あわや



町づくりを語る会



高谷山「もみじ祭」



栗屋小学校芝生のグラウンド



栗屋小学校・保育所合同運動会

## 高谷山整備事業



高谷山展望台付近雑木伐採



駐車場から展望台雑木伐採



# 栗屋町 マップ



## 岩 脇 古 墳 (古墳公園)

県史跡

三次地方の古墳では最も古い時期の円墳で、高さ3.5m、直径31m、一つの古墳に大小7個の埋葬施設があり、家族の墓とされます。古墳の斜面が地山の斜面につながっているため、実測の高さよりも大きく見えます。周りに幾つかの小さな古墳があり、少し下には石を並べた四隅突出型墳丘墓と呼ばれる弥生時代の墓も見つかっています。

眼下に三次の市街地や巴に流れる川が一望でき、春は桜と椿が咲き乱れる景勝の地です。(現地説明板があります。)



## 浅 原 城 跡 (龍頭城跡) (旭)



中世の山城で、浅原兵部の居所とされています。可愛川が鋭く屈曲して細長いU字型地形を造っている内側に伸びた尾根にあるので、三方を囲んだ川が堀の役目を果たし、天然の要害となっています。

浅原兵部は毛利氏の命令を受け、石山本願寺へ兵糧を運び救援するなど活躍した武将です。麓には一族の墓があります。

## 勝 山 城 跡 と 滝 の 観 音 (上村)



天文年間(1532~1554)の築城。比叡尾城主三吉隆亮の弟、三吉新兵衛隆信(述)の居城でした。

多くの空堀で守られた廓や土塁、井戸の跡が残っています。粟屋では最も大きな規模の山城で、加井妻城の真向かいに上村川を挟んでそびえている重要な存在です。

隆信には本家筋の甥(隆亮の子)により謀殺されたという悲しい伝説が残っていますが、他にも多くの言い伝えが地元で語り継がれています。その一つにこの山の麓に滝の観音と呼ばれる石仏があります。道路工事で少し移転しましたが、傍に滝が流れ落ちています。この観音は盗賊に殺害された勝山城中御納戸役の霊を弔って造られたということです。

## 丸 山 鉄 穴 場 跡 (下津河内)



JR三江線粟屋駅から東南東約300mの所にあります。鑪製鉄用の砂鉄を土砂から選り分ける施設です。掘り出した砂鉄混じりの土砂を、砂溜池・初池・中池・乙池と順次水で流し、鉄と砂の比重の差を利用して砂鉄だけを洗い出して採取するのです。当時は池の底など板張りになっていました。

鑪による製鉄は古代から明治時代まで行われましたが、粟屋にはこの丸山鉄穴のほか約10箇所もの鉄穴があったことがわかっています。

(現地説明板があります。)

## 粟 屋 高 塚 古 墳

高谷山を中心とする丘陵一帯は、6世紀後半から7世紀にかけて横穴式石室がたくさん築かれています。

その中でこの古墳は三次盆地を代表する大型の横穴式石室です。石室は立って入れる高さで、門柱石や敷居のような石で、部屋(玄室)と通路部分(羨道)が仕切られています。

古墳全体の大きさは直径18m、高さ約3mの円墳です。玄室の規模は長さ約4.9m、幅2.4m、高さ約2mで、羨道の長さは4.5mです。



